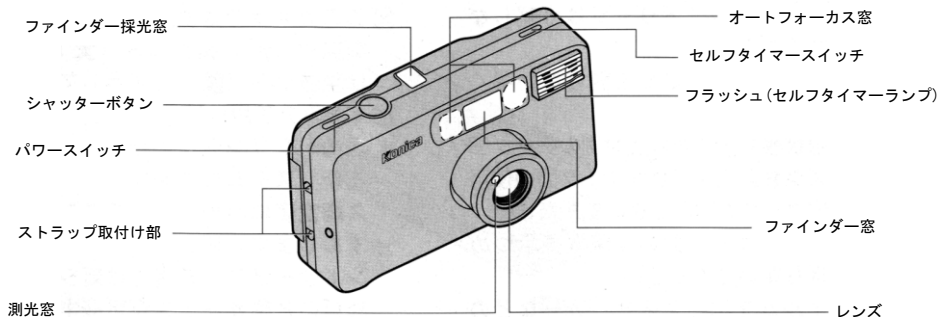
Konica

# SUPER BiG mini BM-S 100

ご使用前に必ず、
お読みください。

## 使用説明書

# 各部の名称

ファインダー採光窓
シャッターボタン
パワースイッチ
ストラップ取付け部
測光窓
オートフォーカス窓
セルフタイマースイッチ
フラッシュ(セルフタイマーランプ)
ファインダー窓
レンズ

## ストラップの取付け方

＊ 調節具の突起部はSETスイッチまたは途中巻き戻しスイッチを押すときに使用してください。

緑ランプ

プリントタイプ切替えスイッチ

ファインダー接眼窓

電池室カバー

スイッチ
(MODE、SET、PRINT)

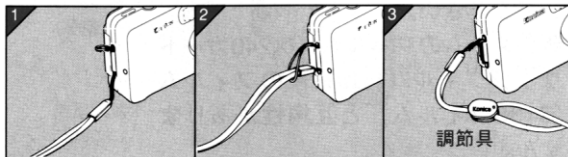
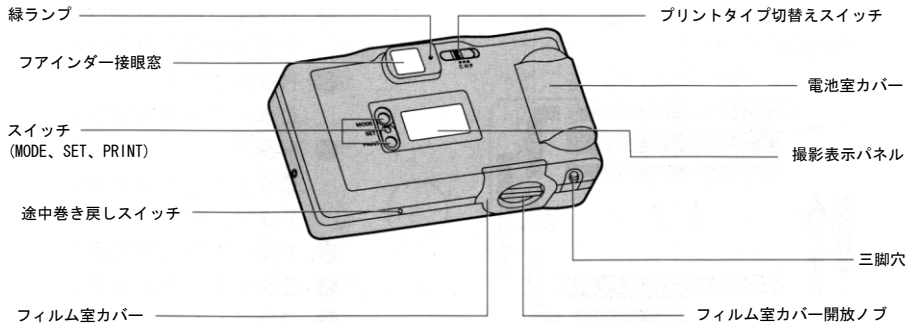
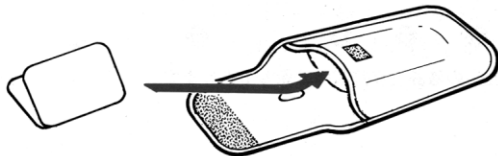
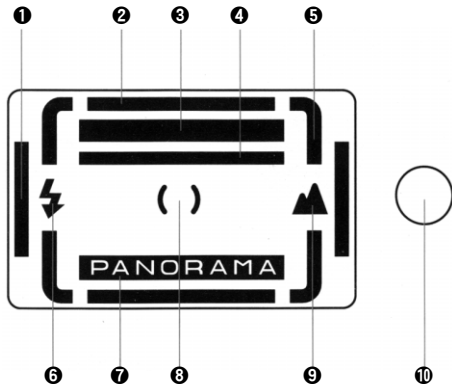
撮影表示パネル

途中巻き戻しスイッチ

三脚穴

フィルム室カバー

フィルム室カバー開放ノブ

---

タイトル早見表はカメラケース内の
ポケットに収納できます。

# ファインダーと表示ランプ

❶. Ｈタイプ撮影範囲フレーム
Ｐタイプ撮影範囲フレーム
❷. Ｈタイプ撮影範囲フレーム
Ｃタイプ撮影範囲フレーム
❸. Ｈタイプ近距離補正フレーム
Ｃタイプ近距離補正フレーム
Ｐタイプ撮影範囲フレーム
❹. Ｐタイプ近距離補正フレーム
❺. Ｃタイプ撮影範囲フレーム
❻. フラッシュマーク
❼. Ｐタイプ撮影範囲フレーム
❽. オートフォーカスフレーム
❾. 無限遠（遠景）マーク
❿. 緑ランプ

＊ 図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

❻. フラッシュマーク

点灯:フラッシュ発光予告表示

点滅:フラッシュ充電中表示

❽. オートフォーカスフレーム

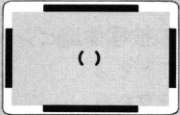
このフレーム内の被写体にピントが合います。

❾. 無限遠(遠景)マーク

点灯している場合はオートフォーカスフレームに関係なく遠景にピントが合います。

❿. 緑ランプ

点灯: AE・AFロック完了

AE=自動露出

AF=オートフォーカス

点滅: 近距離警告

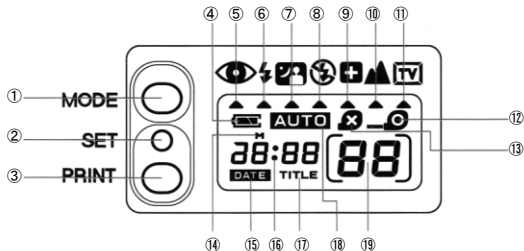
* このカメラのファインダーはプリントタイプの切替えや近距離撮影時などに各種表示が液晶でファインダー内に表示されます。機構上、下記の点についてご注意ください。

1. ファインダー採光窓を指などで隠すとファインダー内の表示が見にくくなります。
2. 表示される撮影範囲フレームの最も内側が写る範囲です。
3. 液晶の特性として高温時や覗く方向によって表示していないときでも各種表示が薄く見えることがありますが異常ではありません。

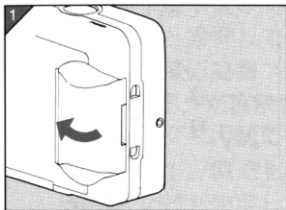
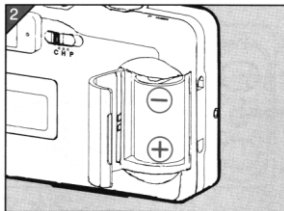
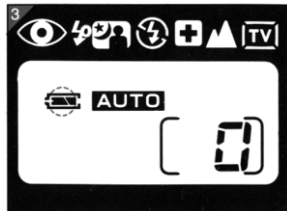
4. 電源OFF時にはオートフォーカスフレームと選択しているプリントタイプの撮影範囲フレーム(一般撮影距離用)が表示されています。
5. ファインダー内部に偏光板を使用しています。偏光を利用したサングラスなどを使用してファインダーを覗くとファインダー内の表示が見にくくなることがあります。

＊ 図の青い部分が写る範囲です。

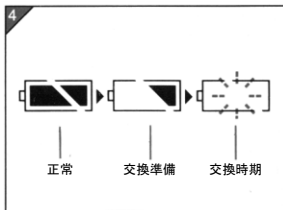
# 撮影表示パネル

＊図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

①: MODEスイッチ
②: SETスイッチ
③: PRINTスイッチ
④: 電池マーク
⑤: 赤目経減(プリ発光)撮影表示マーク
⑥: 日中フラッシュ撮影表示マーク
フラッシュ発光予告表示マーク
フラッシュ充電中表示マーク
⑦: ポートレート夜景撮影表示マーク
⑧: フラッシュなしの撮影表示マーク
⑨: ＋1.5露出補正撮影表示マーク
⑩: 無限遠(遠景)撮影表示マーク
⑪: TV画面撮影表示マーク
⑫: フィルム状態表示マーク
(給送可能、巻き戻し途中)
⑬: フィルム状態表示マーク
(巻き戻し完了、給送不良)
⑭: 月表示マーク
⑮: 日付・時刻記録マーク
⑯: 日付・時刻表示
西暦・タイトル・言語・フィルム感度表示
⑰: タイトル記録マーク
⑱: 自動フラッシュ(AUTO)表示マーク
⑲: フィルムカウンター

# 1. 電池の入れ方

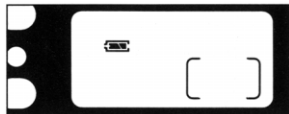
＊電池を入れた時や交換した時はオートデートの調整およびタイトルの確認をしてください。

電池室カバーの溝にコインなどを差し込み、カバーを開けます。

電池の⊕、⊖を電池室内側の表示に合わせて正しく入れ、電池室カバーを閉じます。

撮影表示パネルを見てください。電池マークが黒く点灯していれば、電池の容量はOKです。

リチウム電池
(CR2:3V)

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電をしないでください。爆発して大けがの危険があります。 |
| ⚠警告 | 電池は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと死亡する危険があります。 |

電池はリチウム電池(CR2:3V)１本です。

＊ 撮影の途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影した後電池を交換してください。
＊ 長期間の旅行などには、予備の電池を用意しておくことをおすすめします。
＊ 連続してフラッシュ撮影をすると電池容量が少ない表示になることがありますが、しばらく待ってから再度パワースイッチを押して電源ONにしたとき、電池の容量が十分な表示になればそのまま撮影できます。
＊ 寒冷地では電池の性能が低下しますのでカメラを保温しながらご使用ください。まれに電池の容量が十分でも電池の容量がない表示になることがあります。このときは再度シャッターボタンを押してください。

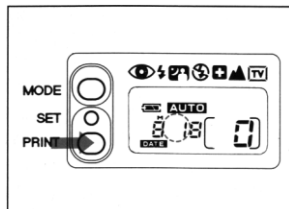
## 電池交換をするときのご注意

1) 電池マークが全部白くなるとシャッターがロックされます。フィルムが入っているときは電池を手ばやく(20秒以内に)入れ替えてください。
2) 電池を取り外して20秒以上たつと液晶表示が全て消灯します。全て消灯しているときに電池を入れると、液晶表示は電池マークとフィルムカウンターの枠だけが点灯します。電源ONにすると自動的に電源ON、OFFの動作を行なった後、電源ONの状態になります。このときカメラ内に撮影途中のフィルムが入っていると電源ONの状態になった後に自動的に巻き戻しを行います。
3) 電池交換直後も電源ONにすると電池マークが全部白くなる場合は故障です。当社サービスステーションにお持ちください。

# 2．オートデート

＊2049年までの日付・時刻を撮影と同時にフィルムに記録することができます。

電源ONのとき、PRINTスイッチを押すごとに記録モードが切替わり循環します。

＊ 各記録モードは一度設定すると固定されそのまま撮影が続けられます。

＊ 記録モードが記録なしのときにPRINTスイッチを押すと、押し続けている間は年(西暦)を表示します。離すと月・日のモードになります。

| 記録モード | プリントの印字内容 |
|---|---|
| 記録なし | 印字なし |
| 月・日 | 年・月・日 |
| 時・分 | 年・月・日＋時・分 |
| タイトル | 年・月・日＋タイトル |

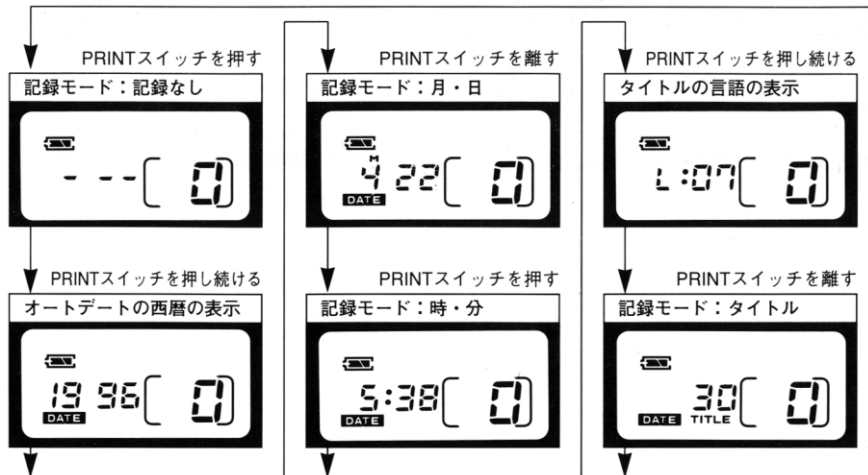
＊ 記録モードが時･分のときにPRINTスイッチを押すと、押し続けている間はタイトルの言語の番号を表示します。離すとタイトルのモードになります。

＊ 各記録はフィルムには磁気により撮影画面外に記録されます。

＊ 各記録は新システムの現像プリントサービス認定店でプリントする際に印字されます。印字する位置については認定店により異なる場合がありますので店頭にてお尋ねください。

＊ タイトルを記録する場合は撮影が終わったらタイトル以外の記録モードにしておくと間違ったタイトルを、記録することを防げます。

記録モードの表示

PRINTスイッチを押す
記録モード：記録なし
- --[ 0]
PRINTスイッチを押し続ける
オートデートの西暦の表示
19 96[ 0]
DATE
PRINTスイッチを離す
記録モード：月・日
M
4 22[ 0]
DATE
PRINTスイッチを押す
記録モード：時・分
5:38[ 0]
DATE
PRINTスイッチを押し続ける
タイトルの言語の表示
L :07[ 0]
PRINTスイッチを離す
記録モード：タイトル
30[ 0]
DATE
TITLE

## 日付・時刻の修正

1 電池を入れてください。パワースイッチを押してカメラを電源ONにすると記録モードは記録なしになります。

2 PRINTスイッチを押し月・日のモードまたは時・分のモードにしてSETスイッチを押すと修正モードになり年(西暦)の数字が点滅します。

＊ 修正モードでは日付・時刻表示以外の箇所の表示は全て消灯します。

3 MODEスイッチを押して点滅している数字を修正してください。

＊ 数字は大きくする修正しかできません。大きくしすぎた場合はさらに押し続けると、小さい数字に戻り再度大きくなります。

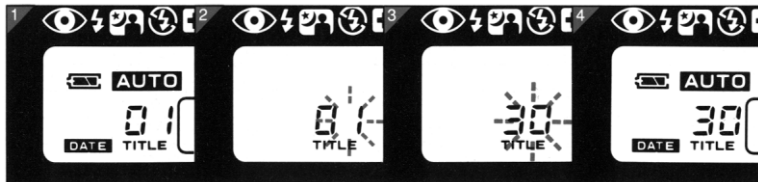
4 PRINTスイッチを押すと修正する箇所が切替わりますので月・日・時・分を修正してください。

5 分を修正した後PRINTスイッチを押すと:が点滅します。もう一度PRINTスイッチを押すと修正モードが終わり記録モードに戻ります。

＊ 秒まで合わせるには、:の点滅時に時報に合わせてPRINTスイッチを押してください。

# 3．タイトル

＊撮影と同時にフィルムにタイトルを記録することができます。

## タイトルの選択

1 電源ONのときPRINTスイッチを押しタイトルの記録モードにしてください。

2 SETスイッチを押すとタイトル選択モードになりタイトルの番号が点滅します。

＊ 初めて選択する場合はーーが表示されます。

3 MODEスイッチを押して記録するタイトルの番号を選択してください。

＊ 番号は大きくする変更しかできません。大きくしすぎた場合はさらに押し続けると小さい番号に戻り再度大きくなります。

＊ タイトルの番号は00～99の中より選択できますがタイトルの入っていない番号もありますのでご注意ください。

＊ タイトルの内容は選択した言語で記録されます。

4 選択が終了したらPRINTスイッチを押してください。タイトル選択モードが終了して記録モードになります。

＊ PRINTスイッチを押し続けている間はタイトルの言語の番号を表示します。ただし2秒以上押し続けると言語選択モードになります。

＊ タイトルは新システムの現像プリントサービス認定店でプリントする際に印字されます。

タイトルの番号:言語の番号が07(日本語)の場合

| 番号 | タイトル |
|---|---|
| 00 | クリスマス |
| 01 | タンジョウビ |
| 02 | キュウカ |
| 03 | シンコンリョコウ |
| 04 | ケッコン |
| 05 | ー |
| 06 | ソツギョウ |
| 07 | ファミリー |
| 08 | パーティ |
| 09 | ホリデー |
| 10 | キネンビ |
| 11 | トモダチ |
| 12 | ガッコウギョウジ |
| 13 | ー |
| 14 | アイラブ ユー |

| 番号 | タイトル |
|---|---|
| 15 | アリガトウ |
| 16 | ー |
| 17 | オタンジョウビオメデトウ |
| 18 | オメデトウ |
| 19 | メリークリスマス |
| 20 | オマツリ |
| 21 | ニュウガク |
| 22 | リョコウ |
| 23 | ショウガツ |
| 24 | フッカツサイ |
| 25 | アケマシテオメデトウ |
| 26 | ドウソウカイ |
| 27 | チチノヒ |
| 28 | ハハノヒ |
| 29 | オモイデ |
| 30 | センレイ |

| 番号 | タイトル |
|---|---|
| 50 | ナツヤスミ |
| 51 | ウンドウカイ |
| 52 | ハイキング |
| 53 | エンソク |
| 54 | ガッシュク |
| 55 | ボウネンカイ |
| 56 | コドモノヒ |
| 57 | セイジンシキ |
| 58 | シチゴサン |
| 59 | タナバタ |
| 60 | ヒナマツリ |
| 61 | ゴールデンウィーク |
| 62 | ハツモウデ |
| 63 | セツブン |
| 64 | サイコー! |
| 65 | カンゲキ! |

| 番号 | タイトル |
| --- | --- |
| 66 | コンナニオオキクナリマシタ |
| 67 | カワイイデショ！ |
| 68 | ガンバッテマス！ |
| 69 | ヨロシク！ |
| 70 | キレイ！ |
| 71 | オゲンキデスカ？ |
| 72 | シュウガクリョコウ |
| 73 | ガンバレ |
| 74 | ウレシイナ |
| 75 | コンニチワ |
| 76 | ハローウィーン |
| 77 | ニュウエン |

* 00～49はタイトルの番号が同じであれば選択した言語に関係なく、同じ意味の言葉になります。
* 50～99は各言語に固有のタイトルです。タイトルの番号が同じでも選択した言語により違うタイトルになります。
* 05、13、16、31～49および78～99では記録する言語に日本語（言語の番号が06と07）を選択した場合は何も記録されません。ご注意ください。
* ーーを選択した場合は全ての言語で何も記録されません。ご注意ください。
* 各言語でのタイトルは新システムの現像プリントサービス認定店または当社サービスステーションにお問い合わせください。
* 選択したタイトルと言語の組合わせがプリントに印字可能であるかは、撮影の前に新システムの現像プリントサービス認定店にてご確認ください。

## タイトルの言語選択

1. 電源ONにしてタイトル選択モードにしてPRINTスイッチを２秒以上押し続けると言語選択モードになりタイトルの言語の番号が点滅します。

＊ 初めて選択する場合は07の番号が表示されます。

2. MODEスイッチを押して記録するタイトルの言語の番号を選択してください。

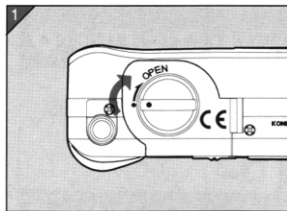
＊ 番号は大きくする変更しかできません。大きくしすぎた場合はさらに押し続けると、小さい番号に戻り再度大きくなります。

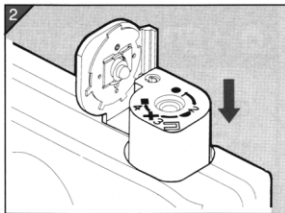
3. 選択が終了したらPRINTスイッチを押してください。言語選択モードが終了して記録モードになります。

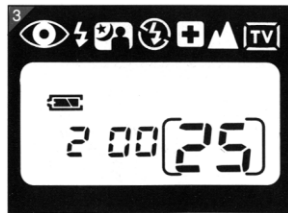
## 言語の番号

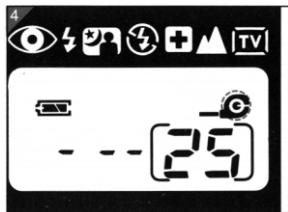
| 番号 | 言語名 |
|---|---|
| 01 | デンマーク語 |
| 02 | フィンランド語 |
| 03 | フランス語 |
| 04 | ドイツ語 |
| 05 | イタリア語 |
| 06 | 日本語（ローマ字） |
| 07 | 日本語（カタカナ） |
| 08 | ノルウェー語 |
| 09 | ポルトガル語 |
| 10 | スペイン語 |
| 11 | スウェーデン語 |
| 12 | 英語（イギリス語） |
| 13 | 英語（アメリカ語） |

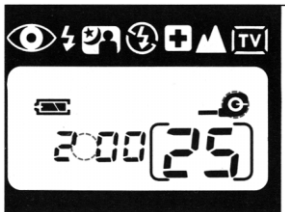
# 4．フィルムの入れ方

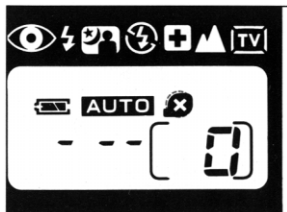
＊IX240カートリッジフィルムをご使用ください。

フィルム室カバー開放ノブの●印をOPENの位置まで回すとカチッと音がしてフィルム室カバーが開きます。

＊ フィルム室カバー開放ノブはカチッという音がして止まります。

カートリッジ(フィルムの容器)を使用状態マーク面の反対側から入れて、フィルム室カバーをカチッというまで確実に閉じてください。自動的にフィルムを送り始めます。

⊘ カートリッジは逆向きなどで無理な力で入れないでください。

フィルムを送り始めるとフィルム感度、電池マークおよび規定撮影枚数が撮影表示パネルに表示されます。

＊ フィルム室カバーを閉めると最初にフィルムの情報が読み込まれます。この間は電池マークとフィルムカウンターの枠だけが表示されます。

撮影表示パネルに ＿◎ が点灯した後フィルムは1枚目の撮影位置で自動的に停止します。

＊ フィルムカウンターは残りの撮影できる枚数(規定撮影枚数)を表示しています。

フィルムが入っていて電源OFFのときは撮影表示パネルの日付・時刻表示の部分にはフィルム感度を表示します。

＊ フィルムを入れると、使用フィルムの感度(ISO25～3200)が自動的にセットされます。

フィルムが送られなかったときは撮影表示パネルに が点灯します。

＊ この場合にこのカメラでは未使用のフィルムの使用状態マーク(●)は撮影済み(✖)の表示になり、再使用はできなくなります。

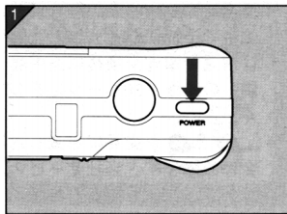
＊ このカメラでは使用状態マークが撮影途中(◗)、扱影済み(✖)または現像済み(■)を表示しているフィルムは使用できません。これらのフィルムを入れると撮影表示パネルには が点灯して、フィルムの使用状態マークは撮影済み(✖)または現像済み(■)の表示になります。

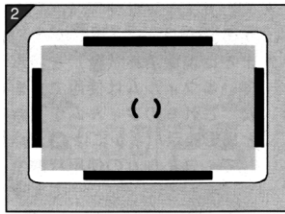
⃠ 巻き戻しが完了した場合とフィルムが送られなかった場合以外でフィルムがカメラに入っているときにフィルム室カバーを無理に開けないでください。カメラとフィルムの双方が破壊されフィルムの撮影した内容は失われます。

＊ 低温時にフィルムの巻き戻しが途中で止まり が点滅したときは常温で電池交換後に途中巻き戻しの操作をしてください。

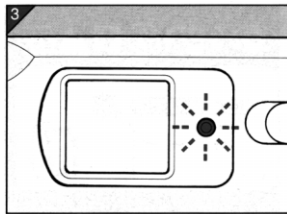
＊ と が交互に点滅した場合は故障です。当社サービスステーションにお持ちください。

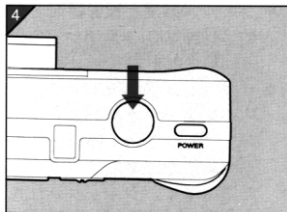
# 5． 撮影方法（一般撮影）

＊すべての撮影に共通する基本撮影の手順をＨタイプの撮影画面で撮影します。

パワースイッチを押してください。電源ONになりレンズカバーが開きレンズが撮影位置まで繰り出されます。

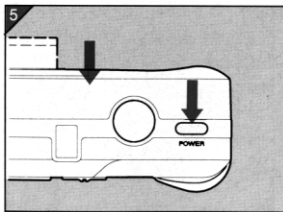
＊ 前面のレンズが汚れていたら軟らかい乾いた布で軽く拭きとってください。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせます。

＊ 図の青い部分が写る範囲です。

＊ ファインダー内の ϟ マークと撮影表示パネルの ϟ を示す撮影表示マーク（▲）が点滅しているときは充電中です。シャッターはきれません。

シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯し、自動的にピントが合います。

＊ シャッターボタンを半押しして緑ランプが点滅したときは撮影距離が被写体に近すぎてピントが合わない警告です。シャッターはきれません。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

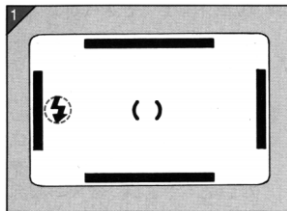
＊ シャッターをきって撮影が終わるとフィルムが1コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が1つ減算されます。

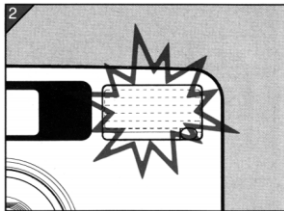
撮影距離：0.35m〜∞

撮影が終わったらパワースイッチを押してください。電源OFFとなりレンズが収納され、レンズカバーが閉まります。

＊ 電源ONにしたときにレンズがレンズカバーに当たり止まった場合は、もう一度パワースイッチを押してください。

⊘ レンズカバーを無理に開閉しようとしたり、レンズカバーに力を加えたまま電源ON、OFFをしないでください。故障の原因となります。

# 6. 自動フラッシュ撮影

＊暗いときフラッシュが自動的に発光します。

シャッターボタンを半押しして、緑ランプと共にファインダー内に⚡マークが点灯したら、フラッシュが自動発光します。

＊ このとき撮影表示パネルの⚡を示す撮影表示マーク（▲）も点灯します。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、フラッシュ撮影をしてください。

フラッシュ撮影の距離
（ネガカラーフィルム使用の場合）

| フィルム感度 | 撮影距離 |
|---|---|
| ISO 200 | 0.35m～6.7m |
| ISO 400 | 0.35m～9.5m |

＊ フィルム感度と撮影距離を自動的に判断してフラッシュの光量が調節されます。

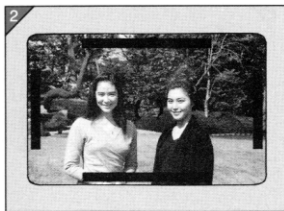
＊ フラッシュ撮影後ファインダー内の⚡マークと撮影表示パネルの⚡マークを示す撮影表示マーク（▲）が点滅しているときは充電中です。シャッターはきれません。

＊ 人物のフラッシュ撮影をするときは赤目軽減撮影をおすすめします。赤目現象が経減できます。

# 7．フォーカスロック撮影

＊被写体を画面中央から外してもシャープに写せます。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯してピント位置が固定されます。

＊ フォーカスロックと同時に自動露出も固定されます。

シャッターボタンを半押しのまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く静かに押し込みシャッターをきってください。

⦸ 撮影距離はかえないでください。

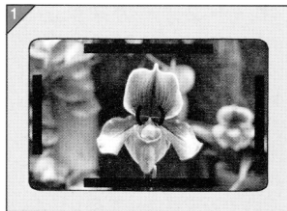
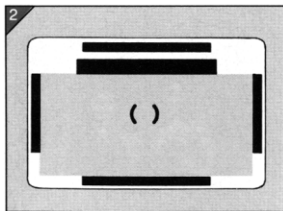
＊ 半押しした指をシャッターボタンから離すとフォーカスロックは解除され、やり直しができます。

## オートフォーカスが正しく働きにくい被写体

1　反射しにくい黒いもの
2　小さいもの、細かいもの
3　発光体
4　光沢のあるもの
5　雨、霧、煙等

これらの被写体は測距しにくいので、等距離の測距しやすいものに向けてフォーカスロックをしてください。ガラス越しの撮影も測距しにくいのでガラスに近づけるか、遠景撮影では無限遠撮影をしてください。

# 8． 近距離撮影

＊0.35mまで近づいて近距離撮影ができます。

撮影距離が0.35m〜0.7mの被写体は近距離撮影になります。被写体にオートフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押ししてフォーカスロックをすると近距離補正フレームが表示されます。

半押しのまま近距離補正フレーム内で構図を決めて、シャッターをきってください。

＊ 図の青い部分が写る範囲です。

＊ 三脚を使いセルフタイマー撮影をすると、カメラぶれを防げます。

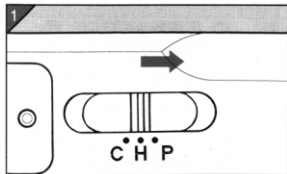
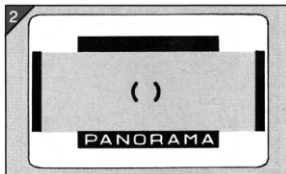
### シャッターボタンを半押しして緑ランプが点滅したときは…

被写体との距離が0.35mより近すぎてピントが合わない警告で、シャッターがきれません。被写体から少し離れてフォーカスロックをやり直してください。

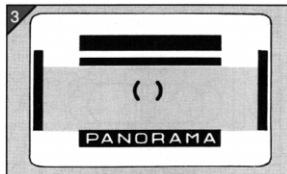
＊ ファインダー内の ▲ マークと撮影表示パネルの ▲ を示す撮影表示マーク（▲）が点灯したときは、オートフォーカスが正しく働いていません。もう一度フォーカスロックをやり直してください。

# 9．プリントタイプ切替え撮影

＊1本のフィルムの途中で３種類のプリントタイプの切替えができます。

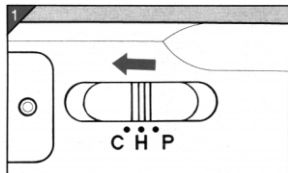
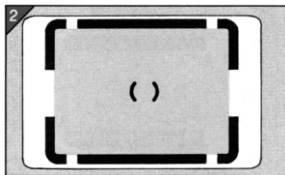
Ｐタイプの場合

プリントタイプ切替えスイッチを右方に動かしてＰ印に合わせてください。ファインダー内にＰタイプ撮影範囲フレームが表示されます。

Ｐタイプ撮影範囲フレーム内で構図を決め、撮影してください。

＊ 図の青い部分が写る範囲です。

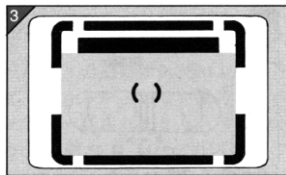
＊ 構図上被写体がオートフォーカスフレームからはずれる場合はフォーカスロック撮影をしてください。

0.35m～0.7m以内の被写体を写す場合は近距離撮影になります。Ｐタイプ近距離補正フレーム内で構図を決めてシャッターをきってください。

＊ 図の青い部分が写る範囲です。

＊ 近距離補正フレームはシャッターボタンの半押しと同時に表示されます。

Cタイプの場合

プリントタイプ切替えスイッチを左方に動かしてC印に合わせてください。ファインダー内にCタイプ撮影範囲フレームが表示されます。

Cタイプ撮影範囲フレーム内で構図を決め、撮影してください。

＊ 図の青い部分が写る範囲です。

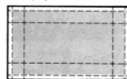
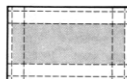
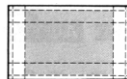
＊ 構図上被写体がオートフォーカスフレームからはずれる場合はフォーカスロック撮影をしてください。

0.35m～0.7m以内の被写体を写す場合は近距離撮影になります。Cタイプ近距離補正フレーム内で構図を決めてシャッターをきってください。

＊ 図の青い部分が写る範囲です。

＊ 近距離補正フレームはシャッターボタンの半押しと同時に表示されます。

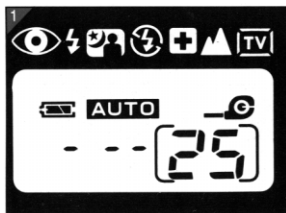
## プリントタイプの切替えについて

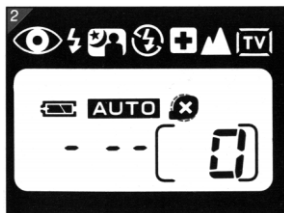
このカメラはHタイプ、Pタイプ、およびCタイプの３種類のプリントタイプを、フィルムの途中で切替えることができます。選択したプリントタイプは撮影時にフィルム上に磁気で記録されます。その際、フィルム上には常にHタイプの画面の範囲が写し込まれます。H・P・Cタイプのそれぞれのプリントは写し込まれた画面の引伸し範囲、縦横比および拡大率をプリント時に磁気記録に基づいて切替えたものです。（ネガカラーフィルム使用の場合）

＊ Hタイプの縦方向と横方向、Pタイプの横方向およびCタイプの縦方向の引伸し範囲は写し込まれた画面より若干小さくなります。

写し込み画面上の引伸し範囲

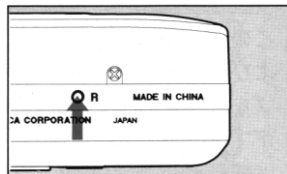
| | 縦：横 |
|---|---|
| Hタイプ | 9：16 |
| Pタイプ | 1：3 |
| Cタイプ | 2：3 |

各プリントタイプの標準的縦横比

# 10. フィルムの取り出し方

フィルムの規定撮影枚数の撮影が終わると、自動的に巻き戻しが始まります。

＊ フィルムカウンターは巻き戻しに連動して、撮影した枚数から数字を減算します。

巻き戻しが完了すると自動的に停止します。撮影表示パネルの ⊠ の点灯を確認した後、フィルム室カバーを開けてカートリッジを取り出してください。

＊ 写し終わったフィルムは、お早めに新システムの現像プリントサービス認定店にお持ちになることをおすすめします。

途中巻き戻しの方法

途中巻き戻し（R）スイッチをストラップ調節具の突起部で押すと撮影途中のフィルムの巻き戻しができます。

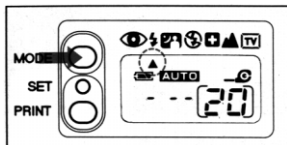
＊ 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

＊このカメラは途中巻き戻しをしたフィルムの再使用はできません。ご注意ください。

# 応用撮影

撮影モードの切替えによる赤目軽減(プリ発光)撮影、日中フラッシュ撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなしの撮影、+1.5露出補正撮影、無限遠(遠景)撮影、TV画面撮影とセルフタイマー撮影について説明します。

# 11. MODEスイッチの操作

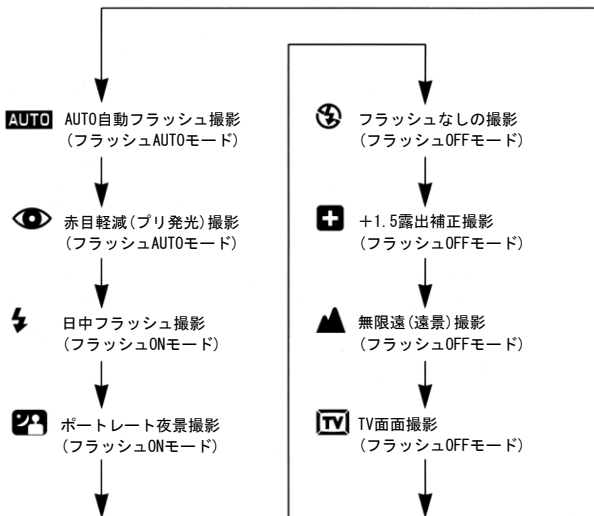
＊被写体に応じて最適な露出方法を選択できます。

MODEスイッチを押すごとに撮影表示マーク(▲)が撮影表示パネル上の各撮影モードのマークを順次表示して循環します。

＊ 一度設定した撮影モードは固定され、そのまま撮影が続けられます。

＊ 撮影が終わったら AUTO に戻しておきましょう。

＊ 電源OFFにして再度電源ONにすると AUTO に復帰します。

AUTO AUTO自動フラッシュ撮影
(フラッシュAUTOモード)

↓

赤目軽減(プリ発光)撮影
(フラッシュAUTOモード)

↓

日中フラッシュ撮影
(フラッシュONモード)

↓

ポートレート夜景撮影
(フラッシュONモード)

↓

フラッシュなしの撮影
(フラッシュOFFモード)

↓

+1.5露出補正撮影
(フラッシュOFFモード)

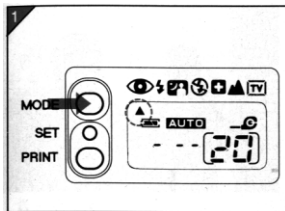
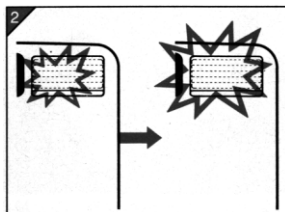
↓

無限遠(遠景)撮影
(フラッシュOFFモード)

↓

TV TV面画撮影
(フラッシュOFFモード)

↓（AUTO自動フラッシュ撮影に戻る）

# 12. 赤目軽減(プリ発光)撮影

MODEスイッチを押して撮影表示パネルの  に撮影表示マーク(▲)を合わせます。

人物に向けてシャッターをきると撮影直前にフラッシュが小光量の予備発光(プリ発光)をした後、本発光をして撮影が終わります。

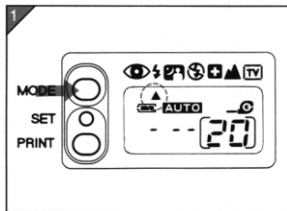
＊ 予備発光をしてから本発光までは約１秒かかります。カメラを動かしたり撮影される人物が動かないようにご注意ください。

## 赤目現象とは・・・

暗い場所で人物のフラッシュ撮影をしたときに、フラッシュ光が目の網膜に反射して、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といいます。

## 効果的な被写体

暗い場所での人物のフラッシュ撮影
(予備発光で瞳孔を小さくした上で本発光するので、赤目現象を軽減します。)

# 13. 日中フラッシュ撮影 ⚡フラッシュONモード

MODEスイッチを押して撮影表示パネルの ⚡ に撮影表示マーク(▲)を合わせます。このときファインダー内には ⚡ マークが表示されます。

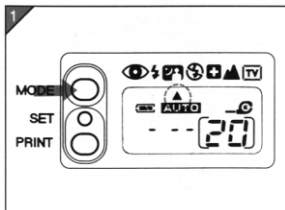
日中フラッシュ撮影

被写体に向けてシャッターをきれば、明るいところでもフラッシュが発光します。

フラッシュなし

効果的な被写体

1　逆光の人物
2　室内の窓際の人物
3　曇り日の人物
4　日陰の人物

# 14. ポートレート夜景撮影　フラッシュONモード

MODEスイッチを押して撮影表示パネルの に撮影表示マーク(▲)を合わせます。

ポートレート夜景撮影

暗い場所で被写体に向けてシャッターをきれば、最長3秒までの超スローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

* 被写体が動いているときはぶれて写ります。
* 手ぶれを防ぐために、三脚を使用してください。

自動フラッシュ撮影

効果的な被写体

1　夜景の人物
2　夕景の人物
3　バックにフラッシュ光が届かない室内の人物

# 15. フラッシュなしの撮影

MODEスイッチを押して撮影表示パネルの に撮影表示マーク(▲)を合わせます。

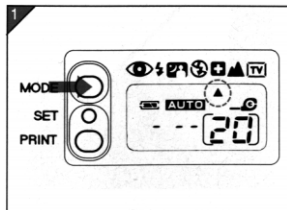
被写体に向けてシャッターをきれば、最長3秒までの超スローシャッターによる自動露出撮影ができます。

＊ 暗い場所では手ぶれを防ぐために、三脚を使用してください。

超スローシャッターによる撮影

効果的な被写体

1 フラッシュが禁止されている美術館での撮影
2 都会の夜景
3 日没時の風景

# 16. ＋1.5露出補正撮影

MODEスイッチを押して撮影表示パネルの ＋ に撮影表示マーク(▲)を合わせます。

＋1.5露出補正撮影

被写体に向けてシャッターをきれば、標準より約1.5絞り明るい自動露出撮影ができます。

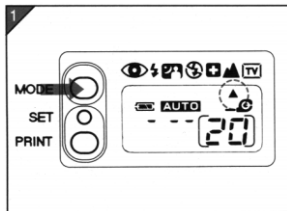
* 逆光であるがフラッシュを発光させたくない場合やフラッシュの光が届かない場合に使用してください。

* 暗い場所では手ぶれを防ぐために、三脚を使用してください。

露出補正なしの撮影

### 効果的な被写体

1 画面全体を明るく仕上げたいとき
2 スキー場の人物
3 逆光の人物
4 白バックの人物
5 明暗コントラストが強い建物の暗部を明るく写したいとき

# 17. 無限遠(遠景)撮影 フラッシュOFFモード

ガラス越しの風景を無限遠撮影

一般撮影

MODEスイッチを押して撮影表示パネルの ▲ に撮影表示マーク(▲)を合わせます。このときファインダー内には ▲ マークが表示されます。

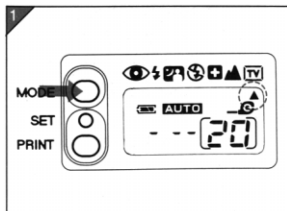
＊フラッシュは発光しません。

オートフォーカスフレーム内の被写体に関係なく、遠景にピントのあった撮影ができます。

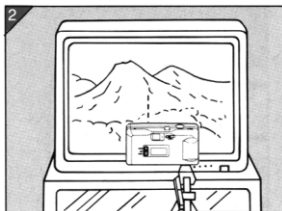
＊ 夕・夜景など暗いときの撮影はシャッター速度が遅くなります。
カメラぶれを防ぐために三脚を使用してください。

効果的な被写体

1 遠景
2 ガラス越しの風景

# 18. TV画面撮影 TV フラッシュOFFモード

MODEスイッチを押して撮影表示パネルの TV に撮影表示マーク(▲)を合わせます。

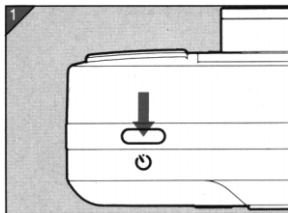
＊ フラッシュは発光しません。

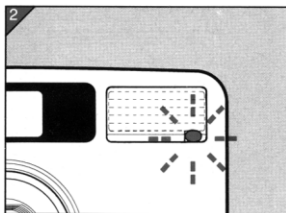
＊ ブラウン管に反射がでないように室内の照明を消したり、窓のカーテンを引いてください。

カメラを三脚に取付けテレビ画面から真正面の位置に固定します。希望の場面になったときシャッターをきってください。

＊ TV画面撮影モードでは絞りが開放となりシャッターの速度が1/15秒または1/30秒となります。

＊ TV画面撮影モードは一般撮影には適しません。

# 19. セルフタイマー撮影

＊記念撮影だけでなく近距離撮影や無限遠撮影にも活用できます。

セルフタイマースイッチを押してください。押した指を離したときに、セルフタイマーがスタートします。

＊ セルフタイマースイッチを押したときに、フォーカスロックされます。

セルフタイマーのスタートから約10秒後にシャッターがきれます。

＊ スタートと同時にセルフタイマーランプが点灯し、撮影の約3秒前から点滅に切替わります。

＊ 三脚を使用してください。

＊ スタートはカメラの後ろ側から行ってください。前側からでは正しいピント、露出が得られません。

＊ 作動中にキャンセルしたいときはセルフタイマースイッチを再度押すか、シャッターボタンを押してください。またパワースイッチを押して電源OFFにしてもキャンセルできます。

＊ セルフタイマースイッチを押して緑ランプが点滅したときは、0.35mより近すぎてピントが合わない警告で、シャッターがきれません。被写体から少し離れてセルフタイマースイッチを押し直してください。

# おもな仕様

＊ 下記性能については、当社試験条件によります。
＊ 製品の仕様、外観については、予告なく変更することがあります。

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 形式 | ：IX240レンズシャッター式AF全自動カメラ |
| 画面サイズ | ：16.7×30.2mm |
| レンズ | ：コニカレンズf=28mm F3.5(3群3枚)レンズカバー付 |
| パワースイッチ | ：電源ONでレンズカバーが開き鏡胴が繰り出す、電池容量の残量を撮影表示パネルに表示、電源OFFで鏡胴を収納しレンズカバーが閉まる |
| シャッター | ：絞り兼用プログラム電子シャッター、電磁レリーズ、3秒～1/500秒 |
| 焦点調節 | ：赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点、撮影範囲・0.35m～∞、撮影範囲外レリーズロック（緑ランプ点滅）、フォーカスロック可能、無限遠撮影可能 |
| 露出調整 | ：CdS受光素子使用のプログラムAE、中央重点測光 |
| 露出連動範囲 | ：ISO400フィルム使用時EV2～EV15 |
| フィルム感度 | ：自動設定（ISO25～ISO3200） |
| ファインダー | ：液晶表示付逆ガリレオ採光式ファインダー、ファインダーわきに緑ランプ（点灯・AE・AFロック、点滅・近距離警告） |
| フラッシュ | ：手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、連動範囲・（ISO 400）0.35m～9.5m、発光間隔・約6秒、フィルム感度と撮影距離を自動的に判断して光量調節 |
| プリントタイプ | ：プリントタイプ切替えスイッチによりファインダー内の液晶表示をＨタイプ、Ｐタイプ、Ｃタイプの3種類に切替え、フィルム途中の切替え可能、プリントタイプは撮影時にフィルムに自動的に磁気記録 |
| モード切替え | ：自動フラッシュ撮影、赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなしの撮影、＋1.5露出補正撮影、無限遠撮影、TV画面撮影の各モードを選択可能（撮影表示パネルに表示）、各モードでセルフタイマー撮影可能 |
| セルフタイマー | ：電子式、作動時間・約10秒、セルフタイマーランプが約7秒間点灯した後、約3秒間点滅、途中解除可能 |
| フィルム給送 | ：電動式、フィルム室カバーを閉じるとスタートするワンタッチオートローディング、自動巻き上げ、フィルムの規定撮影枚数終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能、カートリッジ途中交換機能なし |
| フィルムカウンター | ：逆算式、撮影表示パネルに表示 |
| オートデート | ：液晶表示式デジタルウォッチ内蔵、2049年までの月・日、時・分、写し込みなしを表示、秒単位まで修正可能、年（西暦）表示可能、自動的に磁気記録 |
| タイトル | ：13言語100タイトルより選択可能、撮影時にフィルムに自動的に磁気記録 |
| 使用温度範囲 | ：－10℃～50℃ |
| 電池寿命 | ：50%フラッシュ発光のとき約12本（25枚撮りフィルム） |
| 電源 | ：リチウム電池（CR2・3V）1本 |
| 大きさ | ：103×57×29.5mm |
| 質量（重さ） | ：155g（電池別） |